

広報
なんたん



Vol.48

【特集】

市民みんなで盛り上げる南丹市の夏

2011年
8・9月号



市民みんな 南丹市の夏 で盛り上げる

今、自分たちは何をしたいのか
今、自分たちに何ができるのか

広報 なんたん もくじ

- ② **【特集】市民みんなで盛り上げる南丹市の夏**
- ⑥ 行政トピックス
 - ・平成23年度スポーツ選手活用体力向上事業
 - ・八木公民館講座
 - 「水辺の観察会第1～3回」 ほか
- ⑧ インフォメーション
 - ・第26回国民文化祭・京都2011のご案内
- ⑫ **人・この道☆ひと筋**
春の叙勲
- ⑬ **みんなて描こう協働のキャンパス**
- ⑭ **いきいき南丹**
- ⑮ **人権の窓／環・境・市・民**
- ⑯ **図書館へようこそ！／暮らしにホッと**
- ⑰ **ぶらりなんたん**
- ⑱ **みんなのひろば**
 - ・第65回南丹市やぎの花火大会
 - ・ひよし夏祭り2011 ほか
- ⑳ **なんたんミュージアム／わが家のアイドル**

今月の表紙

8月14日、南丹市やぎの花火大会において「マル・マル・モリ・モリ」を踊るNPOグローアップと子どもたち。会場の人々が気持ちをひとつにし、東北の方に元気を届けました。

4町の絆を深め、そして 南丹市の元気・笑顔を東北へ届けたい！



▲ダンスの練習をする元気いっぱいの子どもたち

東日本大震災は、直接被災していないNPOグローアップのメンバーにとつても、とても大きな影響を与えるものでした。「今後、自分たちは子どもたちに何を残してあげられるのだろうか。今の地域社会のあり方ってどうなのだろう」など、いろいろなことを考えさせられたそうです。

南丹市が合併して5年余りがたちますが、子育て面から見ても4町が独立している感じで「もっと多くの子どもたちと遊ばせたい。引越してきたがなかなか地域になじめない」といった声が上がるなど、子育て家庭が出会う機会がまだまだ少ないと感じられています。

グローアップのメンバー自身が子育て世代ということもあり、東日本大震災や地域社会の状況に対し、今自分たちにできることは、「4町でイベントを催し、元気を東北に届けること」であると思いい、8月14日、南丹市やぎの花火大会において『マル・マル・モリ・モリ』を踊ってエールを送ることに決めました。この踊りは『マルモのおきて』という家族の絆を描いたテレビドラマで使われたものです。「親子の絆、4町の絆を深めたい」といったNPOグローアップと参加者の熱い思いと重なるものがありました。

インタビュー



NPOグローアップ
代表
あきた ゆうこ
秋田 裕子 さん

NPOグローアップは、親が「自分と子の幸せ」について考える場所を設け、安心して子育てができる環境を周辺地域に発信すべく平成19年から活動しています。

子育て世代は、出産から育児、家事などで社会から離れがちだと思われるでしょうが、この世代は地域の人と交流したり、いろんなことを勉強する時間があったりと、意外と視野を広げるチャンスだと私たちは考えています。その時期に自分たちにできること、やりたいことをやるうと活動しています。メンバーも自由に意見を出し合って、自分たちが楽しむという活動を大切に活動しています。

今回の活動に向けて、園部町で5回、八木町で6回、日吉町、美山町でそれぞれ1回練習を行いました。本番では南丹市として1つになる姿を見せ、東北に元気を届けられました。

お互いがお互いを見守れる地域 まちの絆・人の輪をつくりたい！



手づくりあんどんの準備をする「宮町華倶楽部」のメンバー▲

園部町宮町は高齢者の割合が非常に高い地域です。高齢者が多いほど、お互いに助け合える地域社会が必要であると考え、「宮町に人の輪をつくりたい。それを広げたい」と思い行動している方たちがおられます。

宮町華倶楽部は、平成22年度に結成され、まず「みんなで寄って話ができるようになる」を目標に、月2回の脳トレの活動を続けてこられました。そして今年度は、昨年度からの事業に加え、「お互いがお互いを見守れる地域をつくる」という目標に向かい前進しようとして「宮町区民の集いの場―青空会場―」を企画。第1弾として7月16日に夏祭り「宮町華灯り」を開催されました。

祭りの準備には、商栄会の方なども含め、普段脳トレには参加していなかった方や、習字や切り絵などの指導ができる方の参加もあり、新たなメンバーを加えて活動することができたそうです。

そして祭り当日は、シンボルロードにたくさんの手づくりあんどんが並べられた幻想的な空間に、家々から夕涼みに訪れた人たちが集まりました。「夕涼みに来て、みんなで話をするなんて久しぶり」と世間話をする姿があちらこちらに見られ、そこには温かな人の輪ができていました。

インタビュー



宮町華倶楽部
代表
中尾 敬子さん

私自身、南丹市外で仕事をしていたときは、地域の輪の中に入れなかったですし、退職してから6年ほどは近所付き合いもなく過ごしていました。しかし、地域に関する仕事をいろいろと任されるうちに、地域の方とふれあうようになり、さらに活動を重ねることに絆が生まれ、今では熱心な皆さんと活動するようになりました。見に来られる方たちも主役のこの夏祭り。区全体の一体感、親近感が生まれたらうれしいです。

～宮町華倶楽部からのお願い～

「宮町区民の集いの場―青空会場―」の第2弾として12月にペットボトルでクリスマスツリーを作り、シンボルロードの飾り付けをしようと企画しています。スポーツ飲料などの角ばった底の2リットルペットボトルを集めています。たくさん必要です。ご協力をお願いします。

- 集積場所 宮町区自治会館
- 連絡先 宮町華倶楽部
TEL 090-3873-8256

歴史と文化のまちづくりを進め 広がる人々の思い・深まる絆



▲そのべ本陣夏祭りの準備をする竹中さん

時代の移り変わりとともに日々変わっていく園部の商店街。その一角、園部町本町と新町に、かつての山陰街道の面影を残す町並みが今も残っています。この地域では「人々の絆、地域コミュニティ」が希薄化している。歴史ある美しい町家や京都匠塾の職人を始め、とても良い職人が作る『ほんまもん』が埋もれている。」と感じ、「もう一度商店街の人、訪れる人が集えるところになりたい。自分たちが主体となり歴史と文化のまちを発信したい」という思いを持ち、活動されている方々がおられます。

「まちなかを再発見する会」は平成21年から町家を舞台に年に4回祭りを催されています。今年度からは新しくオープンした園部まごころステーション「陽だまり」が加わり、「京都匠塾」と合わせて2団体と13人で活動。夏祭りでは、毎年行っている本陣屋台や合羽家のお茶席に加え、丹精を込め育てた100苗の朝顔を販売する「朝顔市」が開催されました。また陽だまりの中では、「子どものための人形劇」「東北利き酒」や商店街の手づくり料理などが並べられました。商店街には、子どもたちの元気な声が飛び交い、主催した

「まちなかを再発見する会」の方も祭りを楽しんでおられました。今ではたくさんの方が本陣地域に目を向けられるようになり、人気が本陣ちまきづくりをはじめ、次の祭りの準備に向けて毎日のようにみんなで話し合うなど、商店街の絆も深まっています。

インタビュー



まちなかを再発見する会
代表
たけなか きよし
竹中 潔 さん

もちろん私も商店街の一員ですし、みんなの店、商店街がはやればいいと思っています。しかし、お金もつけただけでは続きません。祭りが成功したときみんなの顔、元気にはしゃぐ子どもたちの声、「もう一度来たい」などの声があるからこそ続けられています。

祭りなんて大きなことは一人でできるものではないですし、街のみんなに支えられて準備や企画をしています。この本陣地域の人は誰が欠けても祭りができない。そんな大切な人たちがばかりなんです。

行政 トピックス



トッポアスリートから学ぶ

—平成23年度スポーツ選手活用—

—体力向上事業—

文部科学省・公益財団法人日本体育協会「子どもの体力向上啓発事業」の一環として、平成23年度スポーツ選手活用体力向上事業を実施。トッポアスリートの実技指導や講話などを通して、スポーツの楽しさに触れ、自らスポーツをやってみようとするきっかけを作



▲タグラグビーの試合（西本梅小）



▲池田広美さんから実技指導を受ける児童（胡麻郷小）

り、体力向上への意欲を高めるために、西本梅小学校、胡麻郷小学校の2校で行いました。7月1日には西本梅小学校で、講師に「神戸製鋼ラグビー部」の大八木淳史さんを招き、「スポーツそしてラグビーの楽しさ」と題した講話と、タグラグビーの実技指導、ゲームが行われました。タグラグビーは、子どもや女性にもなじみやすいラグビーで、タックルの代わりに腰に巻いたタグを取るというルールが大きな特徴です。また、7月14日には、胡麻郷小学校で池田広美さんを招き、バレーボール教室を開催。子どもたちは、モンストリアルオリンピックの金メダリストから指導を受け、熱心に取り組みました。

身近な自然を五感で感じる

—八木公民館講座—

「水辺の観察会第1～3回」

7月3日、自然環境の大切さを学び、ふるさとへの関心を高めるために、水辺の観察会を開催。第1回は、八木町西田の用水路で捕獲調査を行いました。また、7月17日の第2回・学習会（八木公民館）では、捕獲したスジシマドジョウなどの希少種をはじめ、魚の種類や特徴などを学びました。第3回では、滋賀県立琵琶湖博物館の見学も行い、参加した18人の子どもたちにとって自然を体で感じ、学ぶ機会となりました。



▲八木町西田での捕獲作業の様子



▲作品づくりに集中する参加者たち

集まれ！チャレンジキッズ

—国民文化祭100日前イベント—

7月23日、南丹市国際交流会館で、国民文化祭100日前イベント「なんたんものづくり体験村」をつくるって、おもしろい！！を開催。地域の工芸家やものづくりに携わる団体が虫かごや木のおもちゃづくりを指導し、ものづくりの楽しさを伝えました。また、園部町にある聖カタリナ高校や京都府立農芸高校もそれぞれ「食」、「ものづくり」のコーナーに参加し、子どもたちに丁寧な指導。会場は、終始作品づくりに打ち込む子どもたちでいっぱいでした。

都市計画指針策定へ向かう

—南丹市都市計画マスタープラン
原案報告—

平成20年度から取り組みを進めてきた南丹市都市計画マスタープランの原案が7月15日に、南丹市都市計画マスタープラン策定委員会から提出されました。本計画は、南丹市の都市計画区域、主に市街化区域におけるまちづくりの基本的な方針を定めるものです。今後、南丹市都市計画審議会に諮問し、答申いただくなかで都市計画の基本方針となり、本計画を基に平成39年度を目標年次として都市計画事業を進めていきます。



▲原案の報告を行う垣村和男委員長(中央)と山脇惠次副委員長(左)

京都市のEPRZ拡大を受け 市の地域防災計画見直しへ

—美山町区長会で説明—

京都府が原子力発電所防災対策暫定計画を策定し、EPRZ(防災対策を重点的に充実すべき地域の圏)を20キロメートルに拡大したことに伴い、7月11日、当該範囲の一部が掛かる美山町で区長会を開催。南丹市における今後の地域防災対策などについて説明を行いました。佐々木市長は「市民の皆さんの考えておられること、心配事を踏まえた上で、これからの計画づくりを進めていきたい」と理解を求めました。



▲区民からの相談事や自分の考えを伝える区長

今は家事共同が必要な時代 家族仲良く暮らせるカタチ

—男女共同参画フォーラム—

第5回南丹市男女共同参画フォーラム「キラリな tantan!」を、6月26日、南丹市国際交流会館で開催しました。男女約100人が参加され、「スーパー主夫」として知られる山田亮さんの講演を聴きました。山田さんは、自らの経験をもとに男性の家事自立の必要性を話され、また「人と人が支えあう『人』字型人間関係から、おのおのがまっすぐに立ち、その上で手をつないだ『M』字型人間関係を目指そう」と提言されました。



▲身の上話も交え家族仲良く暮らす秘訣を伝授する山田亮さん

カヌーの実技指導を通して 青少年の育成・交流の場を

—大堰川カヌー教室—

八木カヌーハウスには、B&G財団から無償貸与を受けたカヌーが16艇あります。今年も小学5年生以上を対象に、八木町大堰川で「カヌー教室」を開催しました。教室開催日の7月31日は、天気にも恵まれ、参加者9人がB&G海洋性レクリエーション指導員から乗り方や救命方法などの指導を受けた後、乗艇。参加者はすぐに操縦にも慣れ、みんなで大堰橋まで下るなど、真夏の水面での会話を楽しんでいました。



▲指導を受け、思い通りにカヌーを操る参加者

「第26回国民文化祭・京都2011」の南丹市事業は、10月29日から11月6日まで、南丹市立文化博物館、南丹市国際交流会館を中心に、周辺一帯で開催します。

国民文化祭の主テーマ「美術展工芸」と、南丹美術工芸教育展、南丹工芸文化祭、京都工芸美術作家協会展などの同時開催により、「南丹ものづくりの祭典」として、南丹市ならではの、京都ならではの彩りを添えて来場者をお迎えします。

子どもたちが学ぶ「ものづくり教育」の発表、特色ある高校や京都伝統工芸大学の充実した作品、市民によるすそ野の広い文化活動、そして南丹市内で活躍されている工芸作家や職人の手が生み出す用の美の作品の数々、日本と世界の文化を高めてきた京文化と伝統産業の秀逸品など、それぞれの展開を線で結ぶ催しにすることを目指しています。心に響く豊かなものづくりの世界を、見て、触れて、感じてお楽しみください。

国民文化祭

一日を満喫

いよいよ本番

第26回国民文化祭・京都2011

□南丹市総合開会式 10月29日（土） 園部公民館大ホール
河鹿合唱団と園部高校・附属中学校合唱部によるコーラスで開会します。
※どなたでもご参加いただける「自由席」も設けます。

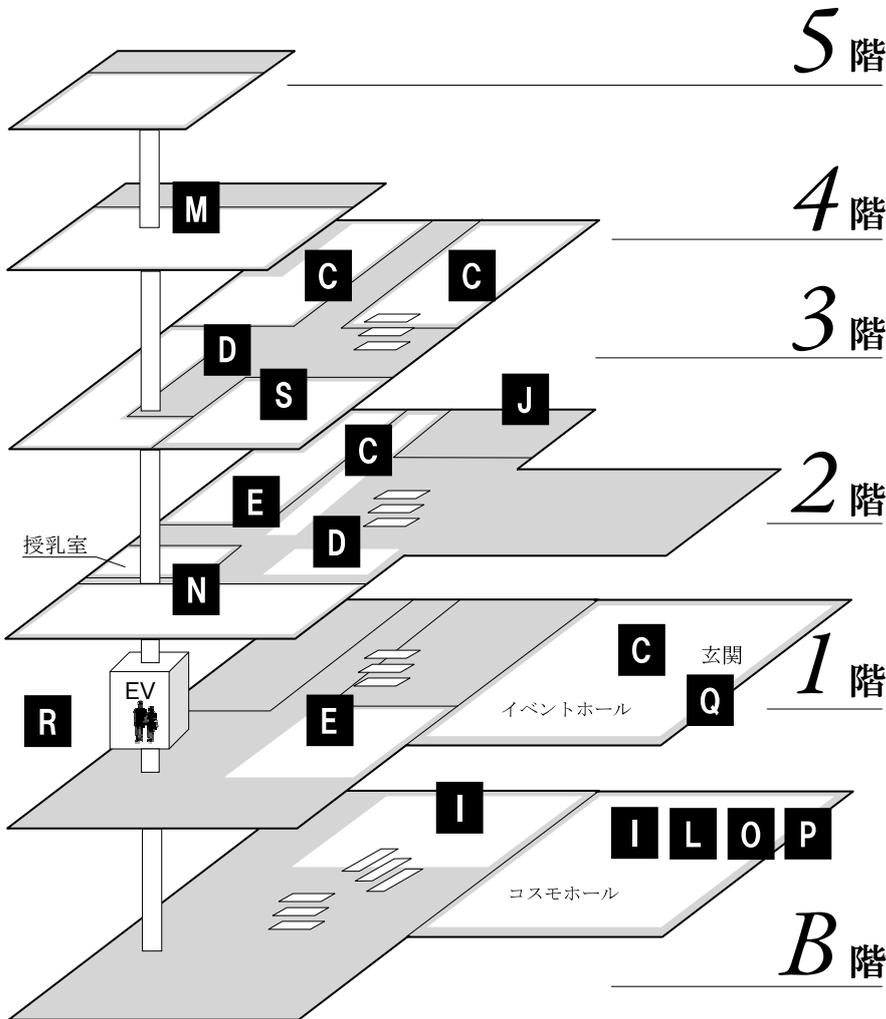
見て・触れて・感じて…

南丹市開催 『ものづくりの祭典』 で秋の

いよいよこの秋、第26回国民文化祭・京都2011が京都府全域を会場に盛大に開催されます。南丹市の担当種目は美術展「工芸」、「里の秋めぐり」マップです。国民文化祭南丹市実行委員会では、南丹市ならではの魅力的な国民文化祭を開催するため、さまざまな催しに取り組みます。今回その内容の一部を皆さんにご紹介します。

※あくまでも現時点の予定ですので、お断りなしに変更する場合がありますがご容赦ください。

南丹市国際交流会館



L 南丹工芸文化祭 (10/29・30)
ものづくり体験コーナー
誰もが気軽にチャレンジできるものづくりの体験コーナーです。ものづくりの楽しさや手づくりの温かさを実感してください。

M 南丹工芸文化祭 (10/29・30)
ものづくり体験じっくりコーナー
大人向けのものづくりの体験コーナーです。じっくり時間をかけて自分だけのオリジナル作品づくりに取り組んでください。

N 南丹工芸文化祭 (10/29・30)
見てさわって遊べる展示
見るだけの展示ではなく、自分でさわって遊べるコーナーです。小さな子どもたちも楽しむことができます。

O えんぴつけずりコンテスト (11/5)
特別ルールにより削った鉛筆の美しさなどを競います。豪華景品を用意しますので、ぜひご参加ください。

P 南丹工芸シンポジウム
30年後のものづくり (11/6)
30年後の日本文化、ものづくり文化に対して現在の30・40代のものづくり関係者を中心にパネルディスカッションを行います。国民文化祭を機にスタートし、カウントダウンを行いながら30年間毎年実施します。

Q おもてなしの迎え花
文化協会や園部町「花」友の会、農芸高校や北桑田高校の皆さんによるおもてなしの設えをご覧ください。

R 食の祭典 (10/29・30)
南丹市のご当地グルメの販売や加工グループの加工品販売を行います。併せて南丹ブランドの特産品や加工食品の豊かな味わいを楽しむコンテストを実施します。

S 国民文化祭
おもてなし茶席
ちょっと休憩のできるおもてなしのお茶席です。南丹市国際交流会館やまちなか(10/29・30)、園部公民館(11/5)で開催します。

ふれて楽しむ

感じて楽しむ

味わって楽しむ

いよいよ本番の秋到来

第26回 国民文化祭・京都2011

見て楽しむ

A 美術展「工芸」(10/29~11/6)
国民文化祭の定められた正式種目の一つで、全国から応募のあった工芸作品を審査し、すばらしい優秀作品の数々を展示します。作品は陶芸・木工・竹・漆・染織・ガラス・紙・金工・その他工芸の分野にわたります。次の方々に審査いただきます。

(敬称略)
唐澤 昌宏 清水 保孝 下出 祐太郎 中川 清司
森口 邦彦

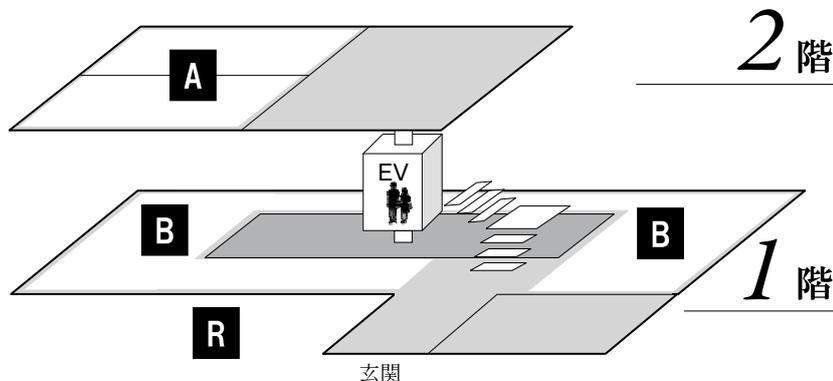
B 創立65周年記念(10/29~11/6)
京都工芸美術作家協会展~南丹市巡回展~
京都工芸美術作家協会は京都を中心に活躍されている工芸美術作家の会派を超えた作家団体としてさまざまな分野の作家が参加し、設立以来、日本の工芸美術界をリードしてこられました。65周年を迎える今回は「今日から明日へ」をテーマに新作200点以上の作品を展示します。

C 南丹美術工芸教育展(10/29~11/6)
南丹管内の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校・特別支援学校の幼児・児童・生徒の優秀作品、および京都伝統工芸大学校との連携作品を大規模に展示します。平面作品や立体作品などさまざまな作品をご覧ください。

D 南丹工芸文化祭(10/29~11/6)
市民文化活動による作品展示
南丹市文化協会や女性の館など、市内各地で広く取り組まれている文化創作活動の発表を通じて市民の皆さんのものづくり力を発信します。市民の皆さんのすばらしい作品の数々をご覧ください。

E 南丹工芸文化祭(10/29~11/6)
福祉施設で作製された商品の展示販売
南丹市内の授産施設や共同作業所などで作製された商品を展示販売し、ものづくりの取り組みの成果を発表します。

南丹市立文化博物館



園部町の町家周辺

F 南丹工芸文化祭「工芸作品展示」
市内工芸家による町家展示(10/29・30)
南丹管内在住の工芸職人や作家の皆さんの洗練された技と用の美の作品を江戸時代の名残がある町家で展示します。

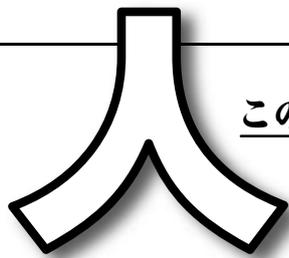
G 特別企画
我が校のものづくり展(10/29~11/6)
南丹市内の各小中学校のものづくりの取り組みを発表します。

H 国民文化祭京都2011 灯りの祭典(11/3)
日本の原風景の面影を残す美山北村かやぶきの里を会場に市民の皆さんの灯り作品や九州熊本から「ちかけん」の皆さんをお招きして「灯りの祭典」を開催します。忘れかけていた日本文化のなつかしい香りと幻想的な灯りの世界をぜひお楽しみください。

I 伝統工芸オークション出品作品展示(10/29~11/6)
若手工芸家の皆さんによる工芸作品のオークションに先立ち、出品作品の数々を展示します。11月6日にはコスモホールで工芸オークションを実施します。

J 同時開催(10/29~11/6)
第27回京都まちとみどり写真コンクール
都市の景観や周辺の緑の写真を募集し、優秀な写真を展示します。

K 同時開催(10/30)
南丹学生の祭典2011
~つなごう南丹、がんばろうニッポン~
音楽やダンスなどのパフォーマンスで会場を盛り上げます。学生パワー全開の元気いっぱいイベントです。



この道☆ひと筋

春の叙勲 受章者

昭和29年4月から平成7年3月までの41年間、京都府職員として府政推進にさまざまな分野で手腕を發揮。昭和63年からは、福知

山、園部、舞鶴の各振興局長を勤められ、京都府人事委員会事務局長に就任。京都府における公正な人事行政や、社会情勢に適應した勤務条件の確保に尽力されました。退職後は、農業会議事務局長や農業信用基金協会副会長の要職に就かれるとともに、地域からの要請に応える形で、議会議員活動を開始。園部町議会議員として議会運営委員会委員長や議会副議長を、南丹市議会議員として議会総務常任委員会委員長や議会運営委員会委員長を歴任されるなど、中立公正を旨として円滑な議会運営に手腕を發揮されるとともに、地域振興の基盤づくりや地域の均衡ある発展に寄与されました。



「地域の均衡ある発展
地方自治の伸展に寄与」

瑞宝小綬章

谷 義治さん (園部町・75)



「地域犯罪の解決に寄与」

昭和37年10月から平成10年3月までの35年6カ月の間、警察官としての誇りを胸に、さまざまな犯罪事件で手腕を發揮。被害者や被害者家族が、一日でも早く安心できるよう、昼夜場所を問わず捜査を行い、事件の早期解決に尽力されました。また、取り調べ中も、被害者の気持ちを第一に考えるなど、人の心を大切にした行動に心掛けられました。退職後は、民生児童委員としておよそ3期の間、福祉の向上に尽力されるとともに、子どもたちに農業体験の場を提供するなど、教育の振興にも寄与されました。

北井 嘉辰さん (日吉町・70)

危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章

「地域住民の安全安心に尽力」

昭和36年4月から平成13年3月までの40年間、忠実を旨として、住民に一番身近な駐在所などで地域住民の生命と財産を守るとともに、町の治安の維持に尽力されました。駐在所勤務では、地域の行事に積極的に参加するなど、住民との絆を深める中で治安の維持に尽力。京都市内の派出所へ勤務された際も、自ら進んで地域の中へ入り、外国人から見た地域の安全などについて考える取り組みに手腕を發揮されました。退職後は、スクールガードリーダーとして、子どもたちの安全安心の確保に寄与されました。



平山 泰さん (八木町・70)

皆さんこんにちは、地域振興課協働推進係です。このコーナーでは市民協働・市民参加に関するさまざまな情報を市民の皆さんにお届けします。今回は全国的にも注目されつつある中間支援組織についてご紹介します。

中間支援組織について

中間支援組織ってどんな組織

NPOなどの市民活動団体をはじめとする各種住民組織の個々の活動に対して、運営についてのアドバイスや相談、情報提供などさまざまな支援活動を行う団体を中間支援組織と呼びます。その役割は次のようなものが挙げられます。

■その役割は

(1) 中立的な立場でのアドバイスやコーディネート

中間支援組織は、市民団体と企業、市民団体と行政などの間に立って、中立的な立場から適切なアドバイスや各団体とのコーディネートを行い、その活動の効果的な実施や効率的な団体運営を支援します。

(2) 必要な団体に必要な情報を提供

中間支援組織には、最新の情報収集能力が必要となります。また、同時にそれらの情報を必要とする団体への適切な提供が求められます。

(3) 組織基盤の強化

活動資金など活動基盤の弱いNPO法人やその他団体などに対し、活動基盤の強化に向けた制度活用などのアドバイスやマネジメント機能を果たします。

(4) 人材の育成

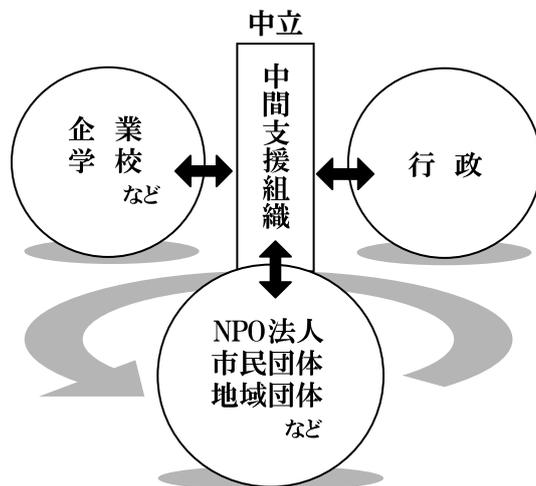
中間支援組織には、全市的な市民活動や地域自治体単位の活動を支援する役割が期待されます。そのため、まちづくりの担い手となる人材の育成に積極的に取り組み、市民のまちづくりへの参画意識や機運の高揚を図るなど、協働を推進するための基礎づくりが期待されます。

(5) 高度な専門的知識

変動する社会的ニーズに対応できるよう、自らもより高度な専門的知識を備え、さまざまな課題についての対処能力を持った支援組織であることが求められます。

このほかにもNPOを評価する評価機能や、新たな課題に対し、社会的な同意を得ながら独自の創造性や先駆性により解決に導く自身の活動力なども必要になってきます。

このようにさまざまな機能を合わせ持った中間支援組織の設置により、NPO法人や地域の活動はさらに充実し、市民の皆さんが主体のまちづくりが大きく前進することになります。



いっき いっき 南丹

-45-

お元気ですか？
保健師です。



ストップ！熱中症

熱中症は知ることので防げます！

これからは、朝夕が少しずつ過ぎやすくなりますが、まだまだ暑い日が続いています。そのため熱中症対策はもうしばらく続けていただきたいものです。あらためて熱中症について考えてみてくたさい。

私たちの体には、暑くなると末梢の血管を広げたり、汗をかいたりして体温を下げようとする調整機能が備わっています。しかし、この調整機能がうまく働かなくなると、発汗による蒸発や皮膚からの熱の放出を通じた「体温コントロール力」が崩れ、体内に熱がこもります。そして、やがて目まいや不快感、意識障がいなどの症状が引き起こされます。この状態が「熱中症」です。



■熱中症はなぜ起こる？

体温よりも気温が低ければ、皮膚から空気中へ熱が移りやすく、体温の上昇を抑えることができます。また湿度が低ければ、汗をかくことで熱が奪われ、体温を上手にコントロールすることができます。しかし、気温が体温より高くなると、空気中への熱の放出が難しくなり、体温調節は発汗だけに頼ることになります。

ところが、真夏日のように気温が高いばかりでなく、湿度も高い場合には、汗をかいても流れ落ちるだけで、ほとんど蒸発しなくなります。すると発汗による体温調節すらできなくなってしまうのです。

このように体温を調節する機能が崩れ、体内に熱がこもってしまいうことで熱中症は発症するので

■熱中症の症状は？

ほぼ次の4つに分類されます。

分類	症状	主な原因
1. 熱疲労	頭痛・めまい・吐き気・脱力感	水分不足による脱水症状と血圧の低下
2. 熱痙攣 ^{けいれん}	筋肉の痙攣 ^{けいれん}	多量の汗をかいた後、血液中の塩分濃度が低くなりすぎて発生
3. 熱射病	吐き気、頭痛、意識障がい	体温調整のための中枢機能そのものがまひする
4. 熱失神	めまい、失神	高温多湿や直射日光下での長時間活動により血管が拡張し、血圧が下がる

■予防のポイント？

「暑さ避ける」

高温多湿、炎天下での外出は控

え、日陰を選んで歩きましょう。外出時は日傘・帽子を利用しましょう。室内はクーラー（目安は28度）や扇風機を利用しましょう。

「涼しい服装を心掛けよう」

通気性がよく、吸汗・速乾性がある衣類を選びましょう。襟元をゆるめ、熱や汗が逃げやすくしましょう。



「体調管理を大切に」

睡眠不足や過労、風邪などで体力が落ちているときは、暑いところでの活動は控えましょう。

「こまめな水分補給をしよう」

のどが渴いたと感じる前に水分補給をするようにしましょう。多量の汗をかいたときは塩分も補給しましょう。

乳幼児や高齢者は熱中症のリスクが高まりますので、特に注意してください。もう少しの暑い時期を頑張つて乗り切りましょう。

「笑顔いっぱい」の学校に！」



川 辺小学校は、本年度
全校児童が39人です。

自然豊かな田園地帯の中
にあり、落ち着いた環境
の中で学習しています。
給食や清掃活動をはじめ
として、さまざまな活動
をなかよし班（異年齢集
団）で実施しています。
その中で、互いに声を掛
け合い、助け合いながら
温かい雰囲気をつくっています。

その一方で、一人一人の児童に、
「あなたの良いところは」と聞いて
みると、なかなか答えられない
児童もありました。

そ こで今年度は、『笑顔いっば
いの川辺小学校！』と自分や
友達の良さを分かり合おうとテ
ーマに、自分や相手のことを尊重
する意識を高める取り組みを進め
ています。

この一学期には、自尊心を高
めようと、『いいところいっばい
カード』に取り組みました。クラ
スの友達に書いてもらった一人一
人の良いところを、顔写真とともに
掲示しました。

カードには、「困っている友達
に優しくできる」「できないこと
でもあきらめず努力している」

「走りが速い」など、その友達の
ことを多方面から見ている
ことが良く分かりました。

友達に書いてもらったカードを
見て、書いた感想文には、「自分
が思ってもいなかった良いところ
を書いてもらってうれしかった」
「みんなが見てくれてくれたのがう
れしかった」「自分の良いところ
を増やしたい」「みんなの良いと
ころをもっと見つけていきたい」
などと書いてありました。そこか
らは、自分では良いところだと思
っていなかったことに気が付いた
り、自分のことを認めてくれてい
ることが分かったりして自信をも
ったことや、もっと自分や友達の
良いところを増やしたり見つけた
りしていききたいという気持ちが伝
わってきました。

こ れからも、自分や友達の良さ
を考えることによ
り、自分や相手のこと
を尊重する児童を育て
ていき、笑顔いっばい
の学校になるようにと
思っています。

（川辺小学校 人権教育主任

石角 正浩）



環・境・市・民
〜感激！
エコ発見〜
エコちゃん
—第21回—

消費者グループが作った生
ごみ堆肥を受け入れ、牛ふん
などに混ぜた堆肥を使って野
菜を作り、その消費者グル
ープに販売。こんな資源循環型
の取り組みが美山町大野で行
われています。



文字さんら
10人のグル
ープと右京区御
室の消費者グ
ループとの交
流は平成16年
から続いでい

ます。消費者は美山町の畑を
訪れ、生産者は野菜市や堆肥
作りを見学するなどして、意
見交換を行っています。手間
を惜しまず安全な野菜を育て
る苦労を知り、おいしい野菜
を心待ちにしている人の喜び
を知る。そんな思いやりの心
の交流が深まっています。



今回のエコジスト
文字 美代子さん
（美山町大野）
「農業を使
わないので、
草や虫が大変

ですが、栄養のある元気な土
作りをすることによって、強
く健康な野菜が育つと思いま
す。御室の方々とは本当に楽
しく交流しています。誰のた
めに作っているかが分かるの
で、やる気も出て、楽しみも増
えます」。

文字さんのグループは高齢
者が中心ですが、野菜作りを
通して、みんなが助け合っ
ています。「これからは若い人た
ちにも野菜作りの楽しさを知
ってもらい、輪を広げたいで
すね。なかなかうまくいかな
いのですが、今は生ごみの堆
肥作りにも挑戦しています。
野菜作りのことで頭がいっぱ
いで、嫌なこともすぐに忘れ
てしまいますよ」。
そんな文字さんの元気が野
菜の味をさらにおいしくして
います。

（環境課）



いよいよ読書の秋本番です!

おはなしを絵にするコンクール・夏休みの読書感想文課題図書は一人一冊、一週間での貸し出しになります。よき多くの方にご利用いただきたくため、ほかの図書より短い期間での貸し出しとなりますが、ご協力お願いします。

まだまだ残暑も厳しいですが、いよいよ読書の秋です。小説は勿論のこと、スポーツや芸術、そしてグルメに関する図書などを多数ご用意して、皆さんのお越しをお待ちしています。ぜひ図書館に足を運んでみてください。

作品紹介



『秘密のスイーツ』

文 … はやしまりこ
絵 … いくえみ綾
発行…ポプラ社

戦時中を生きる雪子と現代に生きる理沙は、小さなタイムトンネルで結ばれ、交流を持つようになる。しかし、雪子には悲しい現実が…。
林真理子初の、児童文学作品です。一般書もあります。



『ものすごく大きなプリンの上でプリンのおきな』

文 … 二宮由紀子
絵 … 中新井純子
発行…教育画劇出版

ものすごく大きなプリンの上で、みんなでなわとびをするときは、気を付けなければいけません。だってプリンは…。とってもゆかいなおはなしです。

暮らしとホッと

—第15回—
消費生活情報

金・プラチナなどの貴金属訪問買い取りトラブル急増!

消費者の自宅を訪問し、金やプラチナなどの貴金属を使ったアクセサリーを買い取るというサービスに関する相談が全国の消費生活センターに多く寄せられています。

南丹市内での情報もありますので事例と注意点を紹介します。

【事例】

- ①「不要な貴金属はないか」と業者が訪問し、「出せ、出せ」と急かすので母の形見の指輪などを見せた。業者は重さを量り、説明もなく1万円を渡し、領収書に氏名と住所を書かせ、指輪を持ち帰った。キャンセルしたいが業者の名前も連絡先も分からない。
- ②日中1人である認知症の高齢者のもとへ業者が訪れ、タンクを開けて中を探しているのを訪問したヘルパーが見つけた。追い返した。

③夜間、毎日のように金製品の買い取り業者がくる。チャイムを何度も鳴らし、対応するまでドアをたたき、仕方なく対応すると「ネックレスなどの貴金属を鑑定し買い取る」と言う。断ってもしつこく最後は脅すような態度で怖かった。



「クーリングオフはできません」

業者が自宅に訪問して、消費者の貴金属を買い取る契約の場合、「特定商取引に関する法律」の適用はなく、クーリングオフはできません。

「トラブルに遭わないために」

- 貴金属を売るつもりがないならキツパリと断りましょう。
- 貴金属などの買い取りサービス業者(古物商)は取引の際「古物商許可証」を携帯しなければなりません。許可証の提示を求め、どのような業者か確認しましょう。
- 買い取り価格の計算根拠や、買い取り条件などが明記された書面をもらいましょう。
- 業者が来た時は家族や親しい人と一緒に対応しましょう。

■商工観光課

TEL 0771 (68) 0050



安心を届ける“縁の下の力持ち” ～消毒ボランティア「いずみの会」～

昭和62年に結成された消毒ボランティア「いずみの会」は、長い間八木町内にお住まいの65歳以上の独居老人の方々のために作られるお弁当箱や食器の消毒を行っておられます。現在のメンバーは八木町内の14人。消毒の作業は、毎月第2木曜日の午前中、八木公民館の調理室で、1時間30分程度7、8人で行われています。

現在、その独居老人の方々のためにお弁当を作っているのは「さといもの会」というボランティア団体で、その数はおよそ70食。「いずみの会」は、その方々が楽しみに待っている顔を思い浮かべながら活動されています。

お弁当の数は70食ですが、消毒



▲流れ作業で消毒を行う「いずみの会」のメンバー

をする必要がある食器の数はその8倍ほどあり、作業を少ない人数で行うのはなかなかの重労働。食器を洗うときには熱いお湯を使用

するため、夏の時期は特に大変だそう。しかし「毎回お手紙をくださる方もありますし、人の役に立つというやりがいを感じながら、みんなで楽しく活動しています」と代表の井尻さんは話してくださいました。また、「お弁当の中身のためにも、食器は絶対に清潔にしなければなりません。自分もお弁当をいただける年齢なのですが、動けるうちはまだまだ頑張り、役に立ち続けたいです」と話す方もおられました。

最後まで汗だくになりながらも真剣な表情で作業を行われる姿がとても印象的で、その様子はまさに地域の人を思う『縁の下の力持ち』でした。



▲消毒作業が完了したお弁当箱

作業の工程

【おわんなど】

- ①洗剤で水洗いをして汚れを落とします
- ②熱いお湯で2回すすぎを行います
- ③消毒ができる乾燥機に入れます

【弁当の箱とふた】

消毒液のついた布で念入りに汚れを拭きます

メンバー募集中!

「いずみの会」では、メンバーの高齢化により、活動の引き継ぎが課題となっています。一緒に活動していただけるメンバーを募集しています。

活動後には、世間話をしながらお茶をし、親睦を深めたりもしています。興味がある方は下記までご連絡ください。

また、いずみの会は「2011南丹市ふれあい福祉まつり」に参加します。パネル展示のコーナーで活動紹介をします。ぜひお越しください。

【2011南丹市ふれあい福祉まつり】

- 日時 10月15日(土)
午前10時～
- 場所 八木農村環境公園「氷室の郷」

消毒ボランティア「いずみの会」

代表：井尻 純子さん

TEL：0771-42-2395

ひよし夏祭り2011がスプリングスひよしで開催されました。恒例の大堰川漁業協同組合主催の魚つかみ大会では、市内外からたくさん子どもたちが参加し、池に放された金魚7000匹、うなぎ50匹を必死に追いかけていました。また、スプリングスパークでは、夏の新鮮野菜などを集めた「里の市まつり」や夜店が数多く出店し、訪れた人でにぎわいました。

午後8時から、市内で今夏初の花火大会が開催され、観客は間近で感じる花火の迫力、轟音、また映し出される背景のひよしダムを満喫しました。



▲たくさんの参加者でにぎわう魚つかみ大会

「ひと足早い花火大会で夏気分を満喫」

7/17 ひよし夏祭り2011

みんなのひろば
まちの話題を紹介します



▲目の前で上がる迫力満点の大スターメイン

市商工会主催による南丹市やぎの花火大会が、八木町大堰川で開催されました。昭和22年から続いているこの大会は、今年で65回目を迎えました。今年は「東日本大震災復興応援」をテーマに義援金を募るなど、東北への支援も行いました。灯ろう流しでは、八木小学校の児童が花火大会に向け東日本大震災復興を応援する大灯ろうを作成し、願いを込めて流しました。来場者は、地元の方をはじめ、さまざまな方の思いをのせて打ち上げられる花火に魅せられ歓声をあげるなど、夏の1日を感動で締めました。



▲大堰川に流れる「人を思う祈りの灯」

「ふるさとの花火・人々の思いをのせ」

8/14 第65回南丹市やぎの花火大会

「パレード・夏の風物詩」
園部・夏の風物詩

8/6 2011南丹そのべ夏祭り



◀ 隊列を変えながら演奏する園部小学校鼓笛隊

今年も、園部の夏祭りと七夕祭が同時に開催されました。天気にも恵まれ、午前中には、シンボルロードなどで園部小学校鼓笛隊の大パレードが行われました。演奏を心待ちにしていた大勢の観客たちの前で一生懸命演奏した児童たちには、割れんばかりの拍手が送られました。午後からは、園部公民館で「園部消防署による起震車体験コーナー」、「夏祭り映画大会」などが行われました。また、シンボルロードでは、みんなの願いが込められた七夕飾りがたくさん並べられ、夜店を行き交う人々でにぎわいました。



▲来客者に和太鼓の壮大な演奏を披露

道の駅「京都新光悦村」が、今年で末広がりとなる「八」周年を迎え、感謝祭を開催されました。2日目の7月18日には通常の販売ブースのほかに特売コーナーを設置され、地元産の野菜やお米などを格安で販売。市内外から来られたお客さんで、開店前から長蛇の列ができていました。また、和太鼓サークルの演奏が花を添えたほか、ものづくり体験コーナー、米粉を使った親子クッキング教室、カラオケ大会などが催されました。

7/17・18 道の駅「京都新光悦村」オープン8周年記念感謝祭

「新鮮野菜求め開店前から長蛇の列」

「お盆の美山川で楽しいひとときを」

美山町自然文化村で鮎まつりが開催され、市内外からの家族連れなどおよそ3000人でにぎわいました。鮎のつかみどりでは、子どもも大人も網を片手に生きの良い鮎を追いかけました。捕られた鮎はその場で塩焼きにして提供もされ、参加者は清流に放たれた鮎の味に舌鼓を打っていました。夕方からは、東映剣会によるチャンバラショーや花火などが行われ、過ぎ行く夏の夜のひとときを楽しみました。



▲元気な鮎を捕らえる子どもたち

8/15 第28回清流美山の鮎まつり

「梅雨明けの清流に鮎をもとめて」

7/9 平成23年度美山漁協組合員友釣り競技大会



▲釣り上げた鮎をタモに取り込む出場選手

美山町平屋地内の由良川で美山漁協による組合員友釣り競技大会が開催され、3人1組の10チーム30人が参加。きらめく水面に竿を立てました。釣り上げた鮎の匹数の合計で勝敗が決まり、今年は40匹を釣り上げた知井Bチーム（大牧祥一さん、勝山幸彦さん、中野喜友さん）が優勝されました。なお、勝山さんは16匹で個人優勝にも輝かれました。大物賞は、20.5cmの鮎を釣り上げた北川弘美さん（宮島Bチーム）でした。この日釣られた鮎は、美山町内の福祉施設に寄附されました。

「森が元気になるればみんな元気になる」

7/18 第2回筏森山モデルフォレスト活動

株式会社虎屋京都工場が、2回目となるモデルフォレスト活動を、隣接する筏森山で実施されました。社員37人や八木町南北広瀬生産森林組合および八木町森林組合の組合員11人などが参加し、雑木の伐採や伐採された枝葉の撤去作業を行いました。この日は、前日までとうって変わって朝から雲が低く垂れ込め、1時間後には本降りとなる天候でしたが、参加者全員ずぶ濡れになりながらも、大切な森を支える活動に取り組みました。



▲雨の中大切な森を支える活動を実施

なんたんミュージアム

—28—

—南丹市立吉富小学校—

※担任の先生、担当教科の先生の
講評を掲載しています。

「どんなかたちのかみにも」

広瀬 風花さん（1年）



▲紙の形からイメージした動物や建物を
はりつけ楽しい絵に仕上げられました。

「宇宙アザラシの赤ちゃん」

松永 拓馬さん（4年）



▲古着やボタン、ビニール袋などの持
ち味を生かして、愛らしい赤ちゃんが
作れました。

「草原」

今西 美美さん（5年）

草原

五年 今西 美美

▶文字の中心に気を付けながら、左は
らの穂先の動きを丁寧に書くことが
できました。

「大笑い」

松本 友輝さん（6年）



▶「大笑い」というテーマで、自分の
顔を表情豊かに粘土を使って表すこ
とができました。

編集後記

「思い」を形・行動にするの
は難しいことではないでしょ
うか。スポーツや芸術におけ
る表現、人に気持ちを伝える
ことも同じだと思えます。特
集の取材で熱い思いを持った
方々に出会い、何かをやり遂
げるための原動力は、その「思
い」だと再確認しました。何か
に行き詰ったときは、「思い」
と向き合うことも大切だと感
じました。

(F)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街がきらめくふるさと 南丹市

なんたんし



- 総人口：34,405人(-30)
(男：16,535人・女：17,870人)
(-22) (-8)
- 世帯数：13,662世帯(-8)
(平成23年8月1日現在)
()内は前月比



わが家の アイドル

●日吉町

寺阪

たいき
泰季くん（3歳）

「いっぱい食べて、いっぱい遊んでおきくなってね!」
(お父さん・お母さんより)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは企画調整課秘書広報係まで

広報 なんたん

編集・発行：南丹市役所 企画政策部企画調整課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0008 FAX:0771-63-0653
URL:<http://www.city.nantan.kyoto.jp>
e-mail:kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、水なし印刷、ベンジタブルインク(植物油)を採用しています。